

基調講演  
**Get Visual and Open Your Dentistry**



東京大会 大会長  
三橋 純

日本における顕微鏡歯科治療の普及はめざましく、地域によっては開業歯科医院の10%に届きそうな勢いである。本学会の会員も増え続け、500人を超えるのも目前となってきた。歯科医療の中で顕微鏡歯科の必要性が認められつつある、と考えられ本学会の果たすべき役割も更に大きくなっている。

一方、開業歯科医が顕微鏡を臨床で使用するには、技術の習得は当然ながら、スタッフ教育、治療時間の延長とそれに伴う治療費の問題など、様々なハードルが存在し、普及の妨げになると同時に、顕微鏡を購入したものの殆ど使わない”えせ顕微鏡歯科医”が増産される原因にもなっている。

大会スローガンである「**Get Visual and Open Your Dentistry**」はこれらのハードルを飛び越えるための武器である。基調講演では私の極めて個人的な顕微鏡歯科の歴史を紐解くことで顕微鏡歯科の現在までの流れをまとめ、本学会が今後目指すべき方向性を示し、更に顕微鏡歯科に邁進する仲間への私からのエールとする。

。